

地域の特色をまとめる力を高める中学校社会科地理的分野の指導の工夫

～イメージマップ・ウェビングマップを活用した言語活動を通して～

主題設定の理由

社会 地歴公民班 片桐 直昭（中学校教諭）

【平成22年ぐんまの子どもの基礎基本習得状況調査】
地理的分野の平均正答率は…

58%

なんと！

世界の国々の地域的
特色を捉える発問の正答率は…

16%

24年度から世界の諸地域の学習がスタート！
地域の特色をまとめる力を高めたい

地域の特色をまとめる力を高める手だて

学習活動 1

【目的】 学習内容の振り返りと整理をする

◎イメージマップを毎時間、学習の最後に書く

①例「ヨーロッパ州」6枚のイメージマップを作成する

ヨーロッパの気候

第2時 ヨーロッパの農業

第3時 ヨーロッパの鉱工業

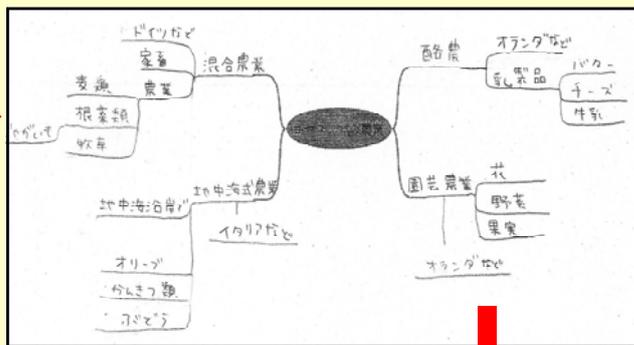
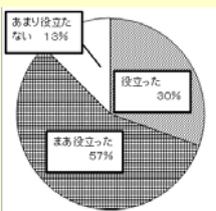
第4時 EUについて

第5時 ヨーロッパの歴史文化

第6時 ロシアについて

②作業時間は約15分とする

※イメージマップによる振り返りが
役立ったと考える生徒が8%



学習活動 2

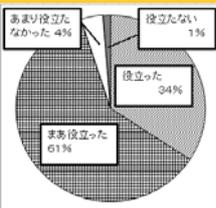
【目的】 それぞれの学習内容を関連づけしながら再構成する活動を通して、ヨーロッパ州に見られる特色を見いだす

◎6枚のイメージマップから重要なキーワードを記入し、ウェビングマップに再構成する

①それぞれの時間の学習内容から出てきたキーワードが関連しているものは線でつなぐ（関連づけ）

②1単位時間で作成する

ウェビングマップによる振り返りが（まあ）役立ったと考える生徒が95%



「ドイツ」というキーワードと「混合農業」「ルール工業地域」が関連付けされている

学習活動 3

【目的】 ヨーロッパの特色を文章でまとめる活動を通して地域の特色をまとめる力を高める

◎文章にまとめる活動

①ウェビングマップを参考に特色をまとめる

②1単位時間で文章にまとめる

ヨーロッパの気候は偏西風や暖流で日本より緯度が高い割には温かいです。ヨーロッパにはEUという連合があり、ます。EECからECになり、1993年にEUになりました。今では27か国が加盟しています。民族ではおもにドイツ、オランダ、イギリスではゲルマン系でプロテスタント。スペイン、フランス、イタリアではラテン系でカトリックの人が多です。ギリシャロシア、ウクライナではスラブ系で正教会の人が多く、それぞれに特色があります。交通網はICEやTGV、ユーロトンネルなどが有名です。ヨーロッパの工業ではドイツのルール工業地域が最大です。おもに鉄や化学、機械類を生産しています。フランスでは、航空機の生産が盛んです。航空機は周辺国と協力して作っていて、フランスでは組み立てを行っています。しかし今、石炭などを使って作っているため環境問題になっています。面積が世界最大のロシアでは今石油の生産が増えています。そして寒いので永久凍土があります。その永久凍土が溶けてしまわないように高床式の家になっています。また凍ってしまわないようにパイプラインが土よりも上になります。

成果 成績上位の生徒に効果が見られた

ウェビングマップでキーワードが関連づけられた生徒（ヨーロッパ）

	3つ以上	2つ	1つ
上位	2名	2名	6名
中位	1名	1名	7名
下位	0名	1名	1名

成績上位生徒24名のうち42%
中位生徒33名のうち27%
下位生徒24名のうち 8%
が関連付けできた

授業実施前と実施後で地域の特色をまとめた文章数の変化

	学習前 (平均)	学習後 (平均)
アジア州	1.7	11.2
ヨーロッパ州	1.5	12.9

- ①イメージマップの活用により学習内容の整理と理解がすすんだ
- ②ウェビングマップの活用により、地域の特色をまとめる学習で、文章量の変化などの効果が見られた

課題

- イメージマップ・ウェビングマップについて
- ①適切な評価規準の作成
- ②作成時間確保のため、授業内容の精選
- ③まとめる活動での成績中位・下位生徒への適切な支援
- ④他科目・他教科への汎用性について